

令和3年度 中央区立明正幼稚園 外部評価報告書

評価委員：押田 まり子、河野 祥多、谷島 豊、高杉 しづ子、広井 良典

報告書作成者：副園長 田原 雅代

評価時期 令和3年2月

1 重点目標の評価

(1) 重点目標1「コミュニケーション力を高める教育の推進」について

保護者のアンケート結果が概ね高評価であることから、幼稚園が重点目標1に向けて意図的・計画的に教育活動を進め、それに伴い幼児の成長していることが伺える。

幼児によっては年齢に応じた発達に難しい場合もあるかもしれないが、幼児期にコミュニケーション力を身に付ける経験をするのが、小学校での対話的学習等にもつながることが予想され、引き続き幼稚園での系統的かつ丁寧な指導が望まれる。

保護者、教員ともに評価が高く、教育活動の充実とその成果が伺える。

(2) 重点目標2「学びの基礎力をはぐくむ教育活動の推進」について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点のために従来の教育活動ができない中、幼児にとって必要な経験を保障するために、教員が様々な工夫して教育活動を進めていることが、幼稚園側からの報告により感じられた。

また、保護者の評価も高いことから、学びの基礎力をはぐくむ教育活動が行われていることが伺える。

(3) 重点目標3「健康な心と体をはぐくむ教育活動の推進」について

年齢に応じた心身の健康をはぐくんでいると感じられるが、保護者によっては我が子の成長に期待をもつあまり、「まだまだ…」と思うことは多々あるものである。幼稚園生活を通して教師が感じる幼児の成長について保護者に伝えること、また、我が子の成長に不安や焦りを感じる保護者の相談への対応を今後もお願いしたい。

2 今後の改善に向けた意見

重点目標と全体の評価ともに全体的に評価が高く、教育活動の成果が感じられる。引き続き、教育活動の充実が図られることを期待したい。

コロナ禍において小学校や近隣保育園との連携や地域に開かれた運営については、難しさがあると予想される。一方で、この2年間で幼稚園が行ってきた感染症対策やそれを踏まえた教育活動の実践を生かした、可能な範囲で連携等が行われることを期待する。

3 その他の意見

母数が少ないためか、学校評議員のアンケートについて否定的意見がないことが気になる部分であるが、保護者アンケート結果と大きな乖離がないため、結果的に問題はないと考える。